

土木学会「土木構造物の耐震基準等に関する提言」についての報告

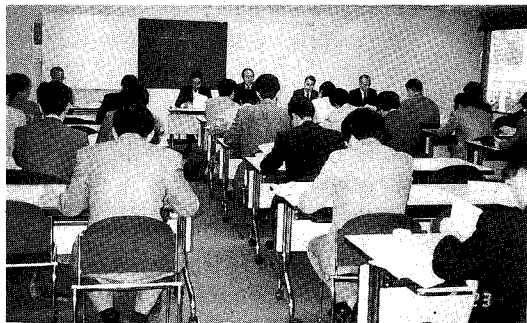
土木学会第82代会長 中村 英夫

土木学会は、阪神・淡路大震災において、土木構造物に多くの被害が生じたことの重要性に鑑み、土木構造物の耐震基準の見直し等、耐震設計の今後の方向についての基本的方針を検討すべく、平成7年3月24日開催の理事会の承認を得て学会内に田村重四郎耐震工学委員会委員長を議長とし、各専門研究委員会の代表（表-1）からなる「耐震基準等基本問題検討会議」を設置し、討議をすすめてきた。

このたび、その第一次段階での提言が作成されたのでここに発表する次第である。なお、この提言は構造物の耐震性を考える上での基本となるべき考え方を示したものであり、建設省、運輸省をはじめとする政府の各関係省庁に5月23日付で送付した。この提言の趣旨に沿って各施設等を管理する事業者が具体的な耐震指針をまとめられ、今後の土木構造物の設計・建設や既設構造物の補強にあたって本提言の考えが活かされることを期待するものである。なお、土木学会においては、ここで述べられた内容を一層詳細なものとし、より具体性の高い指針としてまとめるべく、今後、1. 設計用入力地震動、2. 耐震設計法、3. 耐震診断と耐震補強、4. 地域防災計画、の4つの課題について分科会（表-2）を設け検討を続けるものである。



記者発表会。左から河野専務理事、中村会長、田村議長、石原副議長



平成7年5月23日、土木学会本館で行われた記者発表会の模様

表-1 土木学会「耐震基準等基本問題検討会議」の構成

(順不同・1995.5.23 現在)

議 長：	田村重四郎	日本大学教授(土木学会耐震工学委員会委員長) 〈耐震工学〉	土岐 憲三	京都大学教授 〈耐震工学〉
副 議 長：	石原 研而	東京理科大学教授 〈土質・基礎工学〉	片山 恒雄	東京大学教授・生産技術研究所 〈都市震災軽減工学〉
委 員：	亀田 弘行	京都大学教授・防災研究所 〈耐震工学〉	高田 至郎	神戸大学教授 〈構造工学〉
	岡田 恒男	東京大学教授・生産技術研究所 〈建築耐震工学〉	大町 達夫*	東京工業大学教授・大学院 総合理工学研究科 〈地震工学〉
	町田 篤彦	埼玉大学教授 〈コンクリート構造〉	伯野 元彦	東洋大学工学部長 〈地震工学〉
	家村 浩和*	京都大学教授 〈耐震工学〉	佐藤 忠信	京都大学教授・防災研究所 〈耐震工学〉
	福本 嘯士	大阪大学教授 〈応用構造学〉	東原 紘道*	東京大学教授・地震研究所 〈地震工学〉
	首藤 伸夫	東北大学教授 〈津波学〉	土田 肇	沿岸開発技術研究センター 理事長 〈港湾工学〉
	岡村 甫	東京大学教授 〈コンクリート構造〉	事務局主任：定道 成美	土木学会企画調整委員会 委員長
	森地 茂	東京工業大学教授 〈交通計画〉	村橋 正武	土木学会企画調整委員会幹 事長
	今田 徹	東京都立大学教授 〈トンネル工学〉	柴山 知也	土木学会企画調整委員会幹 事
	龍岡 文夫	東京大学教授・生産技術研 究所 〈基礎地盤工学〉	河村 忠男	土木学会事務局企画広報室 長
	阿部 勝征	東京大学教授・地震研究所 〈地震学〉	柳川 博之	土木学会事務局企画広報室
	浜田 政則*	早稲田大学教授 〈土質基礎工学〉		

注：*印は委員兼幹事，行末の〈 〉はそれぞれの専門分野を示す。

表-2 土木学会「耐震基準等基本問題検討会議」・分科会の設置

土木学会「耐震基準等基本問題検討会議」の下に以下の4分科会を設置し，今後の提言のための必要な調査・研究を行う。各分科会は，土木学会の常置委員会のメンバーを含む横断的な構成とする。また，必要に応じて他の学協会員の参画を求める。

【分科会-1】 設計用入力地震動

検討項目：設計用入力地震動，直下型地震の地震動特性，想定地震動と設計震度，地域係数，活断層の分布と活動度，その他

【分科会-2】 耐震設計法

検討項目：重要度と耐震性能，大型試験機の設計とこれを用いた研究計画，動的解析法の整備と耐震設計への活用，液状化の判定，その他

【分科会-3】 耐震診断と耐震補強

検討項目：耐震診断法，耐震強度の考え方と方法，優先順位の決定法，その他

【分科会-4】 地域防災計画

検討項目：社会経済に及ぼす影響，安全性のレベルと負担の割合，その他